

広報

# やまこし

1980

1月

第139号

発行/新潟県古志郡山古志村役場 電話 (025859) 2331 印刷/大川印刷株式会社 毎月1日発行



お知らせ

## 1月6日 消防出ぞめ式

一九時のサイレンを合図に

一月六日に、村の消防団により「消防出ぞめ式」が行われます。午前九時のサイレン(半鐘)を合図に、各分団ごとで機械器具の点検や放水訓練が実施されます。

これは、年を新たにし、万一の火災に備え訓練して今年の無事を祈るとともに、村民のみなさんへも火災防止を呼びかけるものです。昨年、国内で多くの火災が発生し、多くの尊い生命が失われまし。村内でも一件の火災が発生しています。

**国民年金** の老齢年金(通算老齢年金を含む)は、みなさんが請求した際に希望した金融機関を通して支払われます。この年金の支払いは、社会保険庁が、毎年みなさんの生存を確認した上で行われています。みなさんが、引続いて年金を受け取るためには、年一回、生存している証明(国民年金受給者現況届)を必ず提出しなければなりません。

## 年金の現況届の提出 期限が変わりました

1月~3月生まれ-2月15日  
4月~12月生まれ-誕生月の末日

出期限の約一か月前に、社会保険庁より、受給者あてに直接郵送されます。みなさんは、その用紙に記名、押印し、役場で村長の証明

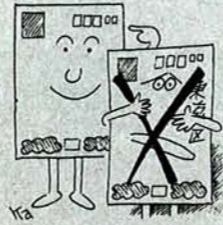
なお「厚生年金」受給者の現況届の提出期限は、従来どおり二月十五日です。

### 「ご存じですか」

書き損じた年賀はがき

新しいものと交換できます

新しい友人や恩師への年賀はがき...年に一度の便りのせいか緊張して書き損じたりします。そんなとき破って捨てないでください。



汚したり、誤って印刷したりした官製はがきなどを下の要領で新しいものと交換しています。ただし、郵便切手にあたる料額印面(はがきの左上にある印刷面)を汚したり、傷つけたりしたものは交換できません。

書き損じたはがき等の交換手数料		
通常はがき	1枚につき	3円
往復はがき	1枚につき	6円
郵便書簡(ミニレター)	1枚につき	6円
外国郵便はがき	1枚につき	5円
航空書簡(エログラム)	1枚につき	10円

### 出稼き先訪問バス

「雪の故郷」今年次のとおり運行されますので、多数ご利用ください。

申込みは1月31日までに「出稼き先」を結ぶ定期便として運行される「出稼き先訪問バス」も今回で七回目を迎え、これまで多くの方に利用されてきました。

- 期日 二月二十九日午後八時-長岡駅出発(小千谷、小出乗車可) 三月二日午前-帰宅
- 料金 バス-長岡から東京往復六、四〇〇円(乗車場所により決定) 宿泊一県であっせんする場合 一人一泊三、五〇〇円-四、〇〇〇円前後(食事別)
- 申込み 一月三十一日まで申込み、その他詳しいことは役場産業課かまよりの安定所へ。

## あつちまのついなぎのついでに



昭和五十五年の新しい年が明けました。一九八〇年代の最初のステップ-新しい時代に向けての、船出の年です。七〇年代は、国や県、村を問わず、大きく揺れ動いた年代といえたでしょう。八〇年代こそは「安定した心豊かな生活を」と、祈りたいものです。



十二月二十一日、東竹沢小学校で一足早いクリスマスが行われました。学年発表での、一年生のかわいい声で「マルカいて、チョン」の歌や、六年生の紙芝居など、楽しい行事になりました。このクリスマスも今では、老若男女を問わず、すっかり日本の年中行事になったようです。

クリスマス (東竹沢小)



# 五十三年度決算認定 給与条例の改正など



昭和五十四年第四回定例村議会は、さる十二月十一日招集され、二十二日までの会期で開かれました。昭和五十三年度決算の認定や、職員給与条例の一部改正など、十九件の議案が提出され、審議のうえそれぞれ原案とおり可決・承認されました。主な概要は次のとおりです。

○一般会計補正予算(第六号)  
歳入歳出それぞれ七千四百七十七万七千七百円を追加し、予算総額は一億六千七百一十二万七千七百円となりました。

○特別会計補正予算  
特別会計あわせて、給与など八千六百六十七万七千七百円を追加し、予算総額一億四千五百三十四万七千七百円となりました。

○特別職の給与条例の一部改正  
医師の給料を「六十五万円以内」から「七〇万円以内」に上げるもの。冬期集落保安委員の報酬を「九万円」から「一〇万円」に。

○一般職の給与と条例の一部改正  
人事院勧告に基づき、国家公務員

員の給与に準じて、一般職の給与が三・四%引上げられました。

○使用料条例の一部改正  
教員住宅の使用料を定めたもの。

○補正予算  
一般職給料・手当 五二二万円  
役場建設基金 二、五〇〇万円  
農地流動化奨励金 二〇〇万円  
除雪対策費 四、六〇〇万円  
種芋原小工事請負費 (減)一、〇〇〇万円  
災害復旧工事請負費 (減)一、八〇三万円  
老人居室整備資金貸付金 (減)一五〇万円

これに対し歳入では、地方交付税一、六三六万円、国庫支出金の減一、七三三万円などとなっています。財政事情も厳しくなっています。

○特別会計補正予算  
特別会計あわせて、給与など八千六百六十七万七千七百円を追加し、予算総額一億四千五百三十四万七千七百円となりました。



## 雪道を安全に走ろう!

冬の交通事故防止運動  
実施中(7/10日)

冬は道路、昔とちがって除雪体制も進み、冬の生活の大動脈となっており、車の通行も可能です。しかし、走行できるからといって、安心は危険です。雪道や凍った道路で、スピードを出しすぎたり、急ブレーキや急ハンドルをしたらすると、思わぬ事故を起こしてしまいます。

スピードは半減  
車間距離は大幅に

雪道では「スピードは半減」、「車間距離は大幅に」を守ってください。さらに、見通しのきかないカーブなどでは「徐行」を。また、凍結路では「ブレーキに頼らぬ安全速度」といわれています。場合によっては、車から降りて確認するくらいに用心がほしいものです。

### その他

○種芋原小の工期の延長  
種芋原小学校の電気工事の工期が、五十五日延長され、一月十五日までとなりました。



3学期から授業を開始する  
新しい種芋原小学校校舎

○教育委員長に長島源佐さん  
さる十二月十七日に開かれた教育委員会で、新しい教育委員長に長島源佐さん(虫亀)が互選されました。

○村史編集  
戊辰戦争と山古志

十歳の男女が動員され、女までも古俵や古わらでも、こをつくって駕籠として使用した。六月三日の萱峠詰めの人足は、あき俵、草鞋以外に、夜食を含む四食分を持たされている。半蔵金詰めも、草鞋や荷縄と、三食分を用意させられていた。

### 年頭にあたって



山古志村長  
佐藤 久

あけましておめでとうございます。皆さんは、それぞれ希望をもって、新年を迎えたことでしょうか。昨年は幸いに大きな災害もなく、一年の六・二六梅雨前線暴風雨災害復旧をはじめ、学校新築、道路交通網の整備、産業振興、生活環境の整備等々の諸事業は計画通り進めることができ、ほとんどが終了、あるいは完成の見通しがついております。これも、関係者各位の積極的な協力のおかげと、心から感謝しております。

○種芋原小の工期の延長  
種芋原小学校の電気工事の工期が、五十五日延長され、一月十五日までとなりました。

○教育委員長に長島源佐さん  
さる十二月十七日に開かれた教育委員会で、新しい教育委員長に長島源佐さん(虫亀)が互選されました。

○村史編集  
戊辰戦争と山古志

○種芋原小の工期の延長  
種芋原小学校の電気工事の工期が、五十五日延長され、一月十五日までとなりました。

○教育委員長に長島源佐さん  
さる十二月十七日に開かれた教育委員会で、新しい教育委員長に長島源佐さん(虫亀)が互選されました。

○村史編集  
戊辰戦争と山古志

十歳の男女が動員され、女までも古俵や古わらでも、こをつくって駕籠として使用した。六月三日の萱峠詰めの人足は、あき俵、草鞋以外に、夜食を含む四食分を持たされている。半蔵金詰めも、草鞋や荷縄と、三食分を用意させられていた。

牛の多頭飼育など農業経営に力を入れ、昨年青年農業士にも認定された畔上勝さん(橋本)が、新潟県農業者友好訪中団(29名)の一員として、中国を訪問してきました。そこで、この中国の農業の様子などを紹介していただきます。

# 未知の可能性を秘めた『新生中国』



畔上さん

## 中国訪問記

橋本 畔上 勝

11月6日  
午前10時45分、強風におおられ出発式もそこに新潟空港を出発。給油のため福岡に着陸。免税売店で酒・たばこなどを中国のお土産に買ったがあまり安いのは驚いた。

福岡を発つて約二時間半、上海に着いた。時差で時計を一時間違らせたので3時15分だった。上海を目の下になると、さすが広いと感じた。緑がなく、赤い大地。あみの目のように走るクリーク(排水溝)。上海は、稲刈りと麦をまくための排水溝掘りの最中だった。



どこへ行っても大歓迎を受けた。レセプション後、地元青年と

空港からマイクロバス(日本製)で上海駅に向かう。空港から駅までノーストップであった。信号が赤であっても、我々の車が通る時は、信号係がいて

全部青にしてくれるのである。駅に近づくにつれ、人、自転車が多くなってくる。車中から手を振ると、相手も手を上げてこれに答えてくれた。まわりの看板や駅名なども漢字で、我々にも意味が大体わかるので親しみもてる。上海駅から大陸横断鉄道で無錫へ向かう。

11月7日  
8時にホテルを出発して、河埭人民公社に向かう。稲二作、麦一作という三毛作の現場を見学した。無錫、上海では三毛作を十数年かけて確立し、現在ではほぼ定着しているという。この三毛作の成功の要因は、徹底した排水対策、栽培期間短縮の工夫・品種改良、有機物多給によ

その養鯉場の食堂で歓迎のごちそうにありついた。その際中国人達に新潟より持ってきたコシヒカリを食べてもらおう、「おいしい、おいしい」の連発であった。その後二〇分間だけの少ない時間であったが、現地の人達といっしょに作業した。我々の作業は稲の結束と溝掘りであった。結束は慣れているので簡単だが、溝掘りは重労働で、しかもまっすぐ掘るのはむずかしい。



農家の台所、質素な机のほか家具は何もない。

11月8日  
午前中は太湖を遊覧。太湖は中国の五大淡水湖の四番目の湖であり、琵琶湖の三倍、水深一三メートルである。浅いせいか舟が通るたびに水が濁り、きれいとはいえない。しかし、とにかく大きい。太湖は、天然のダムでもある。

ものほとんどない。「解放前に比べれば家を持っているだけ幸せ」という家の人に驚くと同時に、豊かさに何の疑問を持たない日本人の生活をも考えてしまう。この後、新潟から持っていた「明日の農業」というフィルムを上映した。無錫の人達も、日本の機械化農業に驚き、感心をもって見るようであった。我々はこので、訪問を記念し、アイリスとチューリップを植えた。

この恵みで無錫の農業が成立している。また、エビ、カニ、白魚、草魚など六〇種の魚がいる。エビ、カニの味は、最高であった。午後、恵山泥人形工場を見学。手作りのきめ細やかな製法、地色豊かで暖かみのある人形。皮か絹が貼ってあるのかと思ひ、そっと手をふれてみたほどだ。

11月9日  
無錫での最後の日。中国絹製品工場、公園を見学し、午後3時15分、無錫より上海に向かう。上海に着くと、やはり世界の大都市に來たという感じであった。

11月10日  
博物館で、青銅器、陶器などを見学の後、百貨店で買物。黒山の人だかりがあったので、首を長くして見たら、日本製のテレビの前だった。しかし、いわゆるぜい沢品の物価は高い。十四インチくらいの白黒テレビが四百元(六万円ちよつと)。なんせ、農業者一か月の給料が四〇〇元だから。午後四時、少年宮の見学。ここに参加しているのは八歳〜十六歳で、学校の推せんを受け、それぞれの部門に才能のある子供ばかりである。活動は、学校が終わってからの3時〜5時。費用国持ちの塾という感じだ。針治療、ピアノ、バレエ、テレビやラジオ組立などの指導を受ける子供達の表情は、一様に明るかった。

11月11日  
嘉定鎮菜塘人民公社の家庭訪問。午後の、中国の農業者との交流会。熱の入った質問がかわされた。まず自留地。自留地は、農業者が自由に利用できる国より割当てられた土地で、一人当たり二アール程度。ここで生産したものは、勝手に売ってもよい事から、利用は活発だ。昼休みも盛んに手入れをしている。また、現在自留地拡大の運動をしているという。中国の民主化、自由化の一端が感じられた。

11月12日  
朝市を見学。野菜、肉、魚などが並んでいる。野菜は国营農場からのものがほとんど。しかし、品物は不揃いで、野菜の鮮度はかなり落ちている。午後は自由時間。上海市内見物と買物に出かけた。夕方から答礼レセプション。始めて末席の方に着けて、リラックス出来た。最初鼻についたマオタイ酒も、中国料理には合う。少々飲み過ぎ。

11月13日  
動物園のパンダを見、上海空港より帰国の途についた。



稲刈りの後、麦をつくるため耕やし溝を掘る。若い女性が多く、手作業でしかも重労働だ。

11月11日  
嘉定鎮菜塘人民公社の家庭訪問。午後の、中国の農業者との交流会。熱の入った質問がかわされた。まず自留地。自留地は、農業者が自由に利用できる国より割当てられた土地で、一人当たり二アール程度。ここで生産したものは、勝手に売ってもよい事から、利用は活発だ。昼休みも盛んに手入れをしている。また、現在自留地拡大の運動をしているという。中国の民主化、自由化の一端が感じられた。

11月12日  
朝市を見学。野菜、肉、魚などが並んでいる。野菜は国营農場からのものがほとんど。しかし、品物は不揃いで、野菜の鮮度はかなり落ちている。午後は自由時間。上海市内見物と買物に出かけた。夕方から答礼レセプション。始めて末席の方に着けて、リラックス出来た。最初鼻についたマオタイ酒も、中国料理には合う。少々飲み過ぎ。

11月13日  
動物園のパンダを見、上海空港より帰国の途についた。

技術面ではまだまだ遅れている中国。「四つの現代化」、未開地の開発が進んだ時、日本への影響は大きいだろう。未開地の開発で、今の三倍の穀物がとれると聞く。工業生産、農業生産は年々伸びており、数年あるいは数十年後、日本に安い中国農作物が多量に入ってくるのではないだろうか。未知の可能性を秘めた「新生中国」が、こわい気さえた。



上海にて

2月1日

# 世界農林業センサス

一九八〇年世界農林業センサスが、二月一日、全国いっせいに行われます。

この調査は、農林業の最も基本的な統計調査です。昭和二十五年から十年ごとに世界センサスが、その中間年に日本だけの農業センサスが実施され、戦後における農林業とともに歩んできた大切な調査です。

みなさんもご承知のように、最近の農林業をめぐる情勢はいっそう厳しくなっています。米、みかん等の過剰になっている反面、大豆、麦、飼料作物が大幅にたりない。農産物価格の低迷。担い手の高齢化。さらに農産物輸入拡大の要請...など問題が山積しています。こうした中で、将来の食糧の安定供給、農林業の健全な発展をはかることが重要な課題です。

このセンサスにより、日本の農林業の姿が統計として明らかに



センサスは見つめふさチャンスです  
センサス標語

- ◆調査(実査)対象—
- ◆経営耕地面積一〇アール、または農産物販売額一〇万円以上の農家(農家である林家も含む)
- ◆保有山林面積一ヘクタール以上の農家でない林家
- ◆その他一定条件を満たす農業事業体、林業事業体
- ◆主な調査事項—
- ◆世帯員数、就労の状況
- ◆経営耕地面積、収穫面積
- ◆家畜、養蚕
- ◆農業雇用労働、生産組織への参加、農用機械
- ◆農産物の販売高
- ◆林業—山林面積、労働、販売

り、その結果は、国・県・市町村さらに地域の農林業を振興させる基礎資料になります。また、国際比較もでき、国際協力にも役立てられます。このように今回のセンサスは、時期的にも合わせて極めて意義が大きいでしょう。

調査員がみなさんのお宅に訪問しますのでよろしくご協力ください。なお、調査票に書かれたことは統計をつくるためのもので、税金の資料にしたり、他に秘密をもちすることは法律で禁じられています。

統計調査員

坂牧 伝作	樺沢 忠春
坂牧 菊松	坂牧仙治郎
坂牧 常英	樺沢 和利
樺沢 一義	橋 竹治
酒井 富栄	長島辰太郎
長島 半	長島 源佐
斎藤松太郎	畔上 義一
星野 敏雄	青木 毅
小池 彦衛	星野三男二
星野 丑松	川上毅一郎
星野栄一郎	岡本 欽治
川上 一雄	松井甚四郎
小川 金雄	関 幸作

## 石油風呂がまの油もれに注意

石油ストーブ、石油風呂がまなど、灯油を使う器具は手軽なこともあってほとんどの家庭で使われています。しかし、これらによる火災も多く発生しています。灯油は手軽な反面で、取扱いをまちがえばすぐ火災に結びつきやすいのです。



油はよくふきとる。また、風呂がまの水量に注意して空焚きは絶対にしないように。

石油ストーブについては前々月号でお知らせしましたので、今回は特に石油風呂がまについて考えてみましょう。

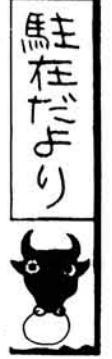
焚いているうちは目を離さない。風呂がまは、居間より離れていて目が届かない所にあることが多い。

油はよくふきとる。また、風呂がまの水量に注意して空焚きは絶対にしないように。

風呂がわいたら、完全に消火しましょう。最後までツマミを回さなかつたり、シンの具合が悪かつたりすると、火が完全に消えないこともあります。

日ごろより器具の点検を心がけましょう。

風呂がまは一年を通して使います。日ごろより点検し、異常があった時などはすぐ販売店などへ。また周囲の状況に注意し、灯油など燃えやすいものはそばに置かないようにしましょう。



長岡警察署  
竹沢・種彦原・蓬平駐在所

- ◆雪による災害事故防止
  - 早めの除雪と 避難口の確保
  - 危険箇所 標識立てて安全に
  - なだれ箇所 安全たしかめ 通行を
- ◆飲酒運転の防止
  - 一度だけ 一杯だけが 事故のもと
  - 一滴の 酒が狂わす 目と心 事故を断つ

◆「暴力団の民事事件相談窓口」を開設

みなさんの中で、暴力団による借金取立てや交通事故の示談交渉などの際に、おどかされたり、無理に契約書を書かされたりして困っている方はいませんか。

最近、このような暴力団の民事事件に介入した犯罪が多くなっています。

長岡警察署 第二捜査課  
☎32-1111

## 電話線にご注意を

雪おろしのシーズンになりました。建物に引込んである電話線を切らないようにご注意ください。冬は修理に時間がかかります。電話線を大切に——。

長岡電報電話局  
☎32-0600



## おやぢのあはれ (120)

八犬伝と その作者 修 野 軍 造

柔和なりしも争そひ怒るは。みな狂水のわざなるを。御ころにな掛け給ひそ。しばらくの鎮まるまで。いと徒然に見え給へば。別席にておん湯漬の。夕飯をまいらすべし。背門のかたにはささやかなる。はなれざしき(乾淨舎)に庭もあり。北国の風土にて。桃も桜も千葉紅梅も。昨今一度に皆さきて。茅の軒端に爛熳たり。はや黄昏に及びしかども。折からはれたる夕月夜には。いささか眺めなきにあらず。いざおん案内をつかまつらん。立たせ給へ。とまめやかなる。心つかひを小文吾は。はやしいしてこれのみ辞はず。しばらくここを外すには。よき潮あひぞと思ひしかば。応へをしつづいそがはしく。刀をひさげて立にけり。さる程に磯九郎は。小文吾がこの席に。をらずなりては誰にかも。はばかりのくもあらざれば。いよいよますます罵しり狂ひて。牛裁判らの意見も用ひず。舌もまわらぬ声ふり立て。おのおのいはるることなれども。われらが哥々は年こそよりたれ。地方で一ち二と指されたる。角力の拔手なりけり。